



# 立入が丘小学校だより



## あっという間の1年間 今年度の最終章へ

立入が丘小学校へ赴任してきたのが、ついこの前のように思うのですが、もう、年度末を迎え、学年のまとめ、卒業、進級の時期を迎えました。

2月末からは、6年生を送る週間が始まり、6年生を送る会や委員会活動で6年生への感謝を伝えるなど、卒業へ向けてのカウントダウンが始まりました。

本校ホームページのトピックス欄で紹介したように、3月4日(火)には、体育館で6年生を送る会が催され、全校児童にとってハートフルなひと時となりました。日頃の6年生の関わりが良かったのか、そして、この日に向けての準備のなかで6年生への思いが高まったのか、1年生から5年生の児童の送る会当日の参加態度は最高でした。出番の時のときばきとした行動、はきはきとした言動、他の学年の発表を見学するときの態度など、6年生のためにという思いにあふれる姿が、そこそこに現れていました。この会を企画・運営した5年生も、会場準備や会の演出、進行など、随所に頑張りが見え、次の最高学年として、頼もしさを感じる活躍ぶりでした。

6年生の喜びもひとしおで、会場での笑顔も絶えませんでした。教室へ戻っても、そして、翌日になっても6年生を送る会の話題が絶えなかったようです。6年生の感想の一部を紹介します。

- ・今日は六送会があった。1～5年生の発表がすご過ぎた。感謝の気持ちがすごく伝わった。
- ・最後のサプライズ動画でちょい泣きしてしまった。これは、卒業式でも泣いてしまう…。
- ・今日の6年生を送る会はとても感動したし、面白かった。心に残る六送会になった。

7日(金)からは卒業式の在校生練習も始まりました。1回目は式で歌う歌の練習でした。ここでも話を聞く態度や歌う姿勢など、「6年生のために」という気持ちが表れており、6年生を送る会と同じ空気を感じることができました。

卒業まで10日を切り、卒業式は目の前です。在校生の思いに応え、残された日々をどのように過ごし、門出の日をどのように迎えるか。小学校での学びの集大成として中身の濃い時間を過ごしてほしいと思います。

